

株式会社西江デニム

デニム製品の制菌・抗ウイルス加工工程 (薬剤利用、回収・再利用工程)の自動化による生産性向上

西江デニムはジーンズの洗い加工からスタートし、業界の構造変化に伴って洗い専業からODM、すなわちデニム衣料の企画や縫製の請け負い、洗い以外の特殊加工へと事業を広げてきた。2020年のコロナ禍を受けて、抗ウイルス・制菌効果のある特殊加工を効率的に行う装置を導入。新開発の次世代消臭・防虫加工にも応用できるとして需要開拓を進める。

会社概況

デニムの豊富な知識生かし ODM全般へと業務を拡大

西江デニムは、1965年に地場特産品であるデニム衣料の洗い加工を開始。岡山県から広島県東部にかけて多くの工場があったデニム衣料の大手専業メーカー(ナショナル・ブランド)からの受託で業績を伸ばし、1982年には縫製にも進出した。デニム業界では専業大手の勢いが薄れる一方、欧米ハイブランドをはじめとするアパレルブランドが製品ラインアップの一環としてデニム衣料の品揃えを強化する方向にある。これを受けて西江デニムなどの加工業者は商品知識の豊富さで事業領域を増やしてきた。今ではデザインから裁断、縫製、洗い加工、その他加工というODM全般へと業務が拡大。これからも、日本の高品質なデニムを武器に活躍の場は広がりそうだ。



岡山県井原市の本社工場。すぐ隣は広島県との県境だ

事業内容

コロナ禍で独自の抗ウイルス・制菌加工に 注文が殺到

2020年のコロナ禍で、アパレル業界も大きなダメージを受けた。代わりに大きく伸びたのが、マスクや防護服などの需要。西江デニムでも、抗ウイルス・制菌効果のある特殊加工の特許実施権を取得していた。2020年には大手製造小売業者から、コロナ対策のマスクにこの加工を施す注文が寄せられた。その数ざっと約1000万枚。マスクの布地を薬品に浸け込んで脱水・乾燥し、再度浸け込み脱水・乾燥という工程を3人がかりでこなした。「他に仕事がなくなった時期だったからよかったが、大変な作業だった」と西江眞社長は振り返る。そこででものづくり補助金を申請。この加工を自動化・効率化する水洗機と乾燥機の導入に踏み切った。



さまざまな色のジーンズ。縫製後小ロットでの染色にもこまめに対応

事業成果

特殊加工の作業、1人で容易に。 時間も大幅短縮

導入したのは山本製作所(広島県尾道市)製の全自動水洗機と、アイナックス稲本(東京都品川区)製の業務用乾燥機。いずれも改造し、前者には薬剤の回収・再利用装置と、液体に浸けずに加工を施せる自動スプレー加工機能を追加。後者は時間に応じて乾燥温度を自動制御できるようにした。この装置により、浸け込みや乾燥といった一連の作業が、3人がかりから1人でこなせるようになった。浸け込む加工法では100本あたり189分かかっていたのが149分に短縮。浸け込まないスプレー加工では同じく588分から238分へと大幅短縮した。幸いにしてコロナ禍は収束したが、西江眞社長は「薬剤を変えればいろいろな加工に応用できる」と話す。



導入した水洗機(左)と乾燥機(右)

ワンポイント

消臭・防虫加工で 新規需要開拓へ

期待を寄せる次世代の特殊加工が、希少金属材料研究所(岡山県玉野市)と共同で開発した、繊維に消臭や防虫の機能を施す加工だ。タングステン酸アンモニウムという特殊な材料の粒子を希少金属研の技術でナノ化。西江デニムの技術で耐洗濯性を保って繊維に固着する。加工には今回の設備を用いる。

消臭機能のほか、問題になっているトコジラミやカメムシを寄せ付けない効果もあり、新規需要が望めそうだ。



代表取締役社長
にし え まこと
西江 眞さん

会社概要 company profile

設立 1960年
資本金 9900万円
代表取締役社長 西江 眞
従業員数 100人
売上高 約22億円(2023年9月)

所在地 岡山県井原市高屋町15-1
TEL 0866-67-2121
FAX 0866-67-2112
URL <https://www.nishiedenim.jp/>